

■災害履歴図について

災害履歴図は、地方公共団体や関係行政機関、研究機関、大学等が調査した水害、地震災害、土砂災害等の現地調査図等の資料より、調査地域内で過去に発生した災害による被害区域や被害箇所に関する情報を示した地図です。ここで提供する情報は、概ね5万分の1程度の縮尺レベルで作成されており、位置誤差を含むほか、地図上で表示をまとめたり省略したりしている場合があります。

また、引用する被害調査図等の資料が不十分なため、地図に掲載されていない災害もあります。被害の場所等を特定できない災害等については、別途災害年表や調査説明書に記載している場合がありますので、合わせて参照してください。

なお、災害発生後の堤防整備や下水道整備、地盤の改良等の防災対策が行われている場合などには、災害発生当時に比べて、現在は土地の安全性が向上している可能性がありますのでご留意願います。

静岡地区の災害履歴図の作成にあたっては、以下の資料を引用しました。

○災害履歴図 [土砂災害・水害]

1. 降雨等による崩壊及び地すべり

昭和46(1971)年7月大崩海岸道路の大崩壊

- ・岩橋徹，木宮一邦．静岡市石部大崩海岸道路の大崩壊の実態・要因および防災上の問題，静岡大学地学研究報告，第3巻第1号．1972，p. 13より転載。

昭和46(1971)年7月大崩の崩壊

- ・防災科学技術研究所．既往斜面災害データベース．2011より転載。

昭和49(1974)年7月賤機山の崩壊

- ・防災科学技術研究所．既往斜面災害データベース．2011より転載。

2. 洪水による浸水域

昭和49(1974)年7月台風8号(七夕台風)による浸水域、堤防決壊及び橋梁流出地点

- ・静岡県警察本部．昭和49年7月7日～8日台風8号及び梅雨前線による大雨に伴う災害警備の概況．1974，p. 33より転載。
- ・津田川河川改修促進協議会．繰り返すまい、七夕災害記録総集．1977より転載。
- ・内、巴川流域（清水、静岡市街部分）の浸水域は、巴川流域総合治水対策協議会．巴川流域の浸水実績．1981より転載。堤防決壊及び橋梁流出地点は、建設省土木研究所．静岡、清水地区49年7月豪雨災害調査報告．1977，p. 15-31より転載。
- ・内、瀬戸川流域の浸水域、破堤地点は、静岡県．瀬戸川水系河川整備計画．2002，p. 10より転載。

昭和57(1982)年9月台風18号による浸水域、破堤地点

- ・静岡県．瀬戸川水系河川整備計画．2002，p. 10より転載。

○災害履歴図 [地震災害]

1. 昭和10(1935)年静岡地震における建物被害

- ・齊田時太郎．昭和10年7月11日静岡地震に就て．東京帝国大学地震研究所彙報，第13冊第4号，1935，p. 990-992に所収の市町村町別住家半壊以上の被害調より大字別の住宅戸数、住家被害数（全壊、半壊別）の値、及び旧版地図より当該大字位置を取得し作成。
- ・本図には、災害発生当時の大字名を表示している。図中で、記載がない大字については、資料中に被害報告の記載はないものの、実際には被害が生じていた可能性がある。なお、本図に表示した市区町村界は、災害発生時期に近い年代の状況を既存資料により参考表示したものであり、災害発生当時の市区町村とは一致しない場合がある。

2. 液状化地点

- ・若松加寿江．日本の液状化履歴マップ 745-2008．東京大学出版会，2011，製品シリアル番号:JLM0973より下記地震を転載。
 - I. 天保12（1841）年地震
 - II. 嘉永7（1854）年安政東海地震、安政南海地震
 - III. 安政2（1855）年地震（3月）
 - IV. 明治24（1891）年濃尾地震
 - V. 昭和10（1935）年静岡地震

3. 地割れ地点

- 嘉永7（1854）年安政東海地震
 - ・静岡県地震対策課．静岡県地震対策基礎調査報告書．1978，p. 56, 57より転載。

○災害履歴図【津波災害】

1. 津波の浸水域

- 嘉永7(1854)年安政東海地震津波浸水域
 - ・静岡県地震防災センター．第3次地震被害想定報告書．2001（GIS データ）を転載。
- 明治22(1889)年の海岸線
 - ・土地分類基本調査図（土地履歴調査）土地利用分類図 第1期より転載。

2. 主な地震による沿岸での津波観測値

- 嘉永7(1854)年安政東海地震の津波観測値
 - ・羽鳥徳太郎．静岡県沿岸における宝永・安政東海地震の津波調査，東京大学地震研究所彙報．1977，p. 424, 426より転載。値はT.P 上波高（m）。数値に関しては資料に記載のまま表記している。
- 昭和19(1944)年東南海地震の津波観測値
 - ・飯田汲事．昭和19年12月7日東南海地震の震害と震度分布．愛知県防災会議，1977，p. 540より転載。数値はT.P 上波高（m）。数値に関しては資料に記載のまま表記している。

○災害履歴図【地盤沈下】

- ・静岡県くらし・環境部環境局水利用課．静岡県地盤沈下調査結果静岡地域．2010より転載。
- ・静岡県くらし・環境部環境局水利用課．平成22年度静岡地域地盤沈下調査変動量

図. 2010より転載。

- ・静岡県暮らし・環境部環境局水利用課. 静岡県地盤沈下調査結果大井川地域. 2006より転載。
- ・静岡県暮らし・環境部環境局水利用課. 平成18年度大井川地域地盤沈下調査変動量図. 2006より転載。
- ・集計期間中に移転・改埋があった水準点・水準基標は集計対象外とした。
- ・調査期間詳細は以下のとおり。

< 静清地区 >

昭和54年, 昭和56年, 昭和58年, 昭和60年, 昭和63年, 平成4年, 平成8年, 平成15年, 平成22年

< 大井川地区 >

昭和56年, 昭和58年, 昭和60年, 昭和63年, 平成3年, 平成7年, 平成11年, 平成18年

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図、数値地図50000(地図画像)、数値地図25000(土地条件)及び基盤地図情報を使用した。(承認番号 平23 情使、第492号)」